

枚方寝屋川消防組合

消防吏員 募集

募集期間
5月20日～6月3日

気になる“ママさん救命士”の育児事情

学歴区分を見直し、人物・実力主義の採用

“元営業マン”現場で活躍できる秘訣とは

Uターン消防士

元営業マン

ママさん救命士

「採用試験制度」が
大きく変わるに

33歳からでも
消防士になれる?!

詳しくは
こちらから



選んだ理由は人それぞれ
思いは一つ!! この街を笑顔に

他市消防本部から地元へUターン。枚方寝屋川消防組合へ

Q1. 前の職場ではどのような業務を担当していましたか？

以前は東京消防庁で主に消防担当として約3年半勤務していました。

Q2. いつ頃から転職を考えるようになりましたか？

入職後、3年を経過する頃から同じように地方からきている先輩と地元のことを話したことがきっかけで、そこから何となく意識するようになりました。私自身の出身は吹田市ですが、知り合いからの情報や受験できる年齢制限などもあり、条件に合致したのが枚方寝屋川でした。

Q3. 転職を考える際は、どなたかに相談されましたか？

両親や職場の先輩や同僚、中でも隊の中隊長にはよく相談に乗ってもらっていました。両親からは、地元に戻ってくることを喜んでもらったので、その面では親孝行できたのかなと思います。

Q4. 前職と枚方寝屋川消防組合との違いなど何かありますか？

規模や人員、車両や資器材等の違いはありますが、人命救助の根本は何一つ変わりませんので、特に働きづらいつと感じたことはありません。ただ、消防担当でいえば幅広く業務をしている点が前職と違うところだと思います。前職も同じ消防担当として勤務していましたが、立入検査や各種届出の受付などの火災予防の業務をあまりしていなかったもので、それらを覚えることに苦労しました。

Q5. 消防経験者ということに対して周りからの反応はどうでしたか？

東京消防庁で勤務していたということで、皆さんの期待値も高かったと思います。前職ではどんな訓練をしていたのかなど聞かれることが多く、前職の経験を伝え実践していくことで良い意味で影響を与えることができたと思います。もちろん私自身もその期待に応えるべく初心を忘れず頑張りました。

Q6. 前職消防経験者ということで消防学校には入校していませんが、同期との関係性ははどうですか？

同じ平成26年10月1日に採用された仲間が同期になります。同期のみんなは消防学校に半年間入校しますが、同期とのつながりが薄いつと感じたことはなく、コロナ禍以前は飲み会や同期旅行も一緒に行くなど、職歴や年齢はバラバラですが仲良く交流をしています。

Q7. 消防経験者で転職を考えている方に一言お願いします。

消防という仕事は変わらないので、すぐに職場に慣れると思います。そして枚方寝屋川では、多種多様な人材を求めています。必ず他市消防本部で得た知識、技術、経験が生きてきます。その経験を積極的に還元していくことでさらなる組織の発展につなげていけるとと思います。



Profile

名前 野村 幸司 (33歳)

階級 消防司令補

平成26年に入職し、主に消防担当として勤務。現在は総務部企画戦略課にて、政策企画や広報の仕事に従事し、枚方寝屋川消防組合をよりよい組織とするために活躍中。



“元営業マン”が現場の最前線で活躍できる秘訣とは

Q1. 消防士になる前はどのような仕事をしていたのですか？

以前は東京にある証券会社で2年半勤務していました。仕事内容は営業担当として株や証券などの金融商品の販売をしていました。

Q2. いつ頃から転職を考えるようになりましたか？

入社して1年半くらい経った時だと思います。その時は「消防の仕事がしたい」というような感じではなく、ただ漠然と転職したいなと考えていた感じです。そこから自分の将来について考えていく中で生まれ育った地元で人の役に立ちたいという思いが強くなり、消防を目指しました。

Q3. 消防に転職してよかったことはありますか？

自分が頑張れば頑張る分だけ、必ず人の役に立てることです。証券会社で勤務していた時は、お客様のために金融商品を販売しているのですが、結果としてお客様を不幸にしてしまうことがありました。しかし、消防の仕事は、知識や技術を身に付けることが直接人の命を救うことにつながります。頑張った分だけより多くの人の役に立てることができる仕事は消防ならではの魅力だと感じています。

Q4. 前職の経験で消防に役立つことはありますか？

一番は接客面だと思います。消防の仕事は現場対応だけでなく、訓練指導など市民の方と触れ合う機会も多くあります。その際はもちろん前職で培った「営業マンスマイル」で対応しています。また、災害現場においても傷病者の家族と接する機会もあり、傷病者やその家族の方は、一生に一度あるかないかの経験でとても不安な気持ちだと思いますので、安心させることができるようなコミュニケーションや接客が大切となります。そういった面でも、前職の経験が大きく活かされていると思います。



Q5. 元営業マンが現場で活躍できる秘訣は何かありますか？

営業マンには必ずノルマが付いてくるもので、その日、週間、月間、年間と目標を立てその目標に対し、日々の積み重ねや過程が大切です。これは、消防も同様です。目標に対してその過程を一步一步進むために、日々努力できることが私の強みだと思います。前職でノルマや数字へ執着していた経験を今では任務遂行へのこだわりに変えて頑張っています。

Q6. 営業職から消防へ入職したことで大変だったことはありますか？

一番は体力面です。前職の時は運動などあまりしていなかったため、体力を取り戻すことが大変でした。

Q7. 新たに採用試験の受験を考えている方に一言お願いします。

転職をすることは非常に勇気がいることだと思います。たくさん悩み、たくさん考え自分にあった仕事を見つけてください。悩み考え抜いた結果、消防士になりたいと思った方は、そこからは全力で努力して合格まで突き進んで欲しいと思います。



Profile

名前 片山 真志 (36歳)

階級 消防士長

平成24年に入職。2年間消防担当として勤務した後、救助担当へ。現在救助担当8年目を迎え、人命救助のスペシャリストとして活躍中。

“ママさん救命士”の育児事情について

Q1. 家庭生活と両立するために工夫していることはありますか？

夫も同じ職場で救命士として勤務しているので、仕事の日が一緒にならないように人事配置をしてもらっています。私が仕事の日には夫が子どもをみてくれているので、安心して仕事に取り組むことができます。

Q2. お子さんは、おいくつですか？

小学1年生の娘が一人です。可愛くてたまりません。(笑)

Q3. 仕事の日朝はどのようなルーティンで過ごされていますか？

朝5時に起きて、その日の夜ご飯や子どものお弁当を作り、子どもの学校の準備をしてから出勤しています。朝は正直時間がないので、毎日時間との戦いです。私は家でゆっくり朝ごはんを食べる時間がないので、職場に着いてからパンなど軽く朝食をとっています。

Q4. いまの仕事についてお子さんからどのように思われていますか？

パパとママは「救急車に乗っている人」としか思われていなくて、救急の仕事がどのようなことかもまだ理解してないと思います。(笑) 一応将来の夢は「救急車になりたい!!」と言ってくれていますが、「救急車?!」って感じなので、これから少しずつ、パパやママの仕事を理解していく中で、同じ救急救命士になりたいと言ってもらえたら嬉しいです。

Q5. 休みの日はどのように過ごしていますか？

子どもが家にいるときは子どもと公園に行ったり、どこかにお出かけしたりして、基本的には子どもと過ごしています。平日は学校に行っているなので、家事をしています。家事が終われば、唯一私がゆっくりできる時間なので、ドラマを観たりして一人の時間を楽しんでいます。

Q6. 男性の多い職場ですが、何か働きにくい点などありませんか？

特に働きにくいとは感じていません。妊娠する前から体への負担を軽減するために、救急隊から毎日勤務の予防課で勤務させていただきました。出産後も予防課で職場に復帰し、仕事と育児に慣れてきた頃に、救急隊への異動希望を出して、救命士として勤務することができています。出産後も希望する救命士として勤務することができているので、とても働きやすい環境であると感じています。

Q7. 受験を考えている方に一言お願いします。

出産した当初は、「仕事と育児の両立はできるのか」と、不安な気持ちでいっぱいでしたが、枚方寝屋川は育児や出産の際のサポート体制が整っていますし、何より上司や同僚を含めた職場の理解があります。だからこその生活ができていると思います。また、現場で活躍している女性も多く、初めの2年間は必ず消防隊として勤務することになりますので、特に私のような現場で働きたいと考えている方には最適な職場だと思います。



Profile

名前 田淵 美乃里 (36歳)

階級 消防士長

専門学校で救急救命士の資格を取得し、平成19年に入職。主に救急担当として勤務。出産を経験し、優しさや愛情溢れる「ママさん救命士」として現在も活躍中。

